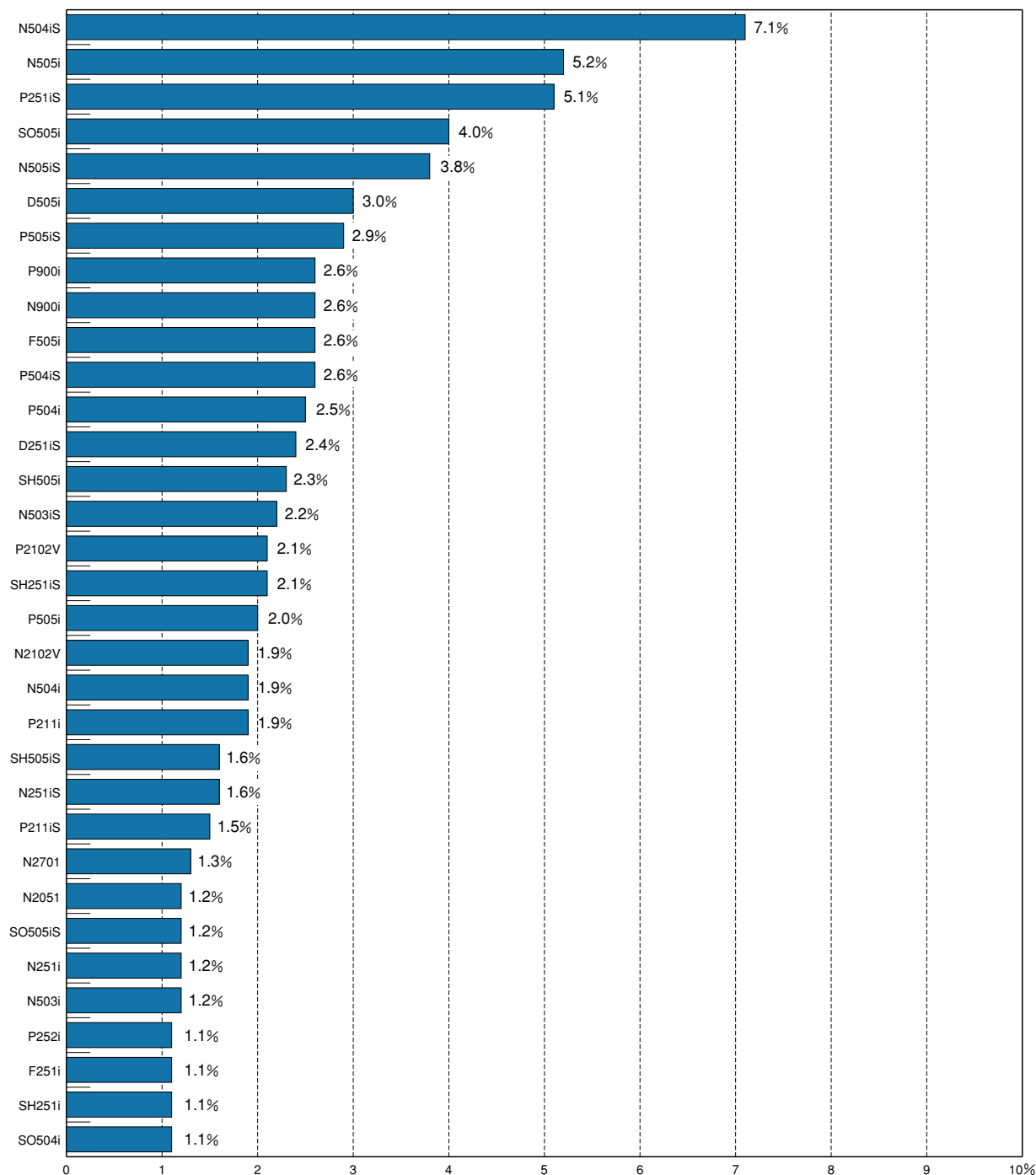


使用機種とその機能

NTTドコモ使用機種トップ30では、NECとパナソニックが2強

資料3-2-13 NTTドコモ利用者の使用機種トップ30 N=1,100



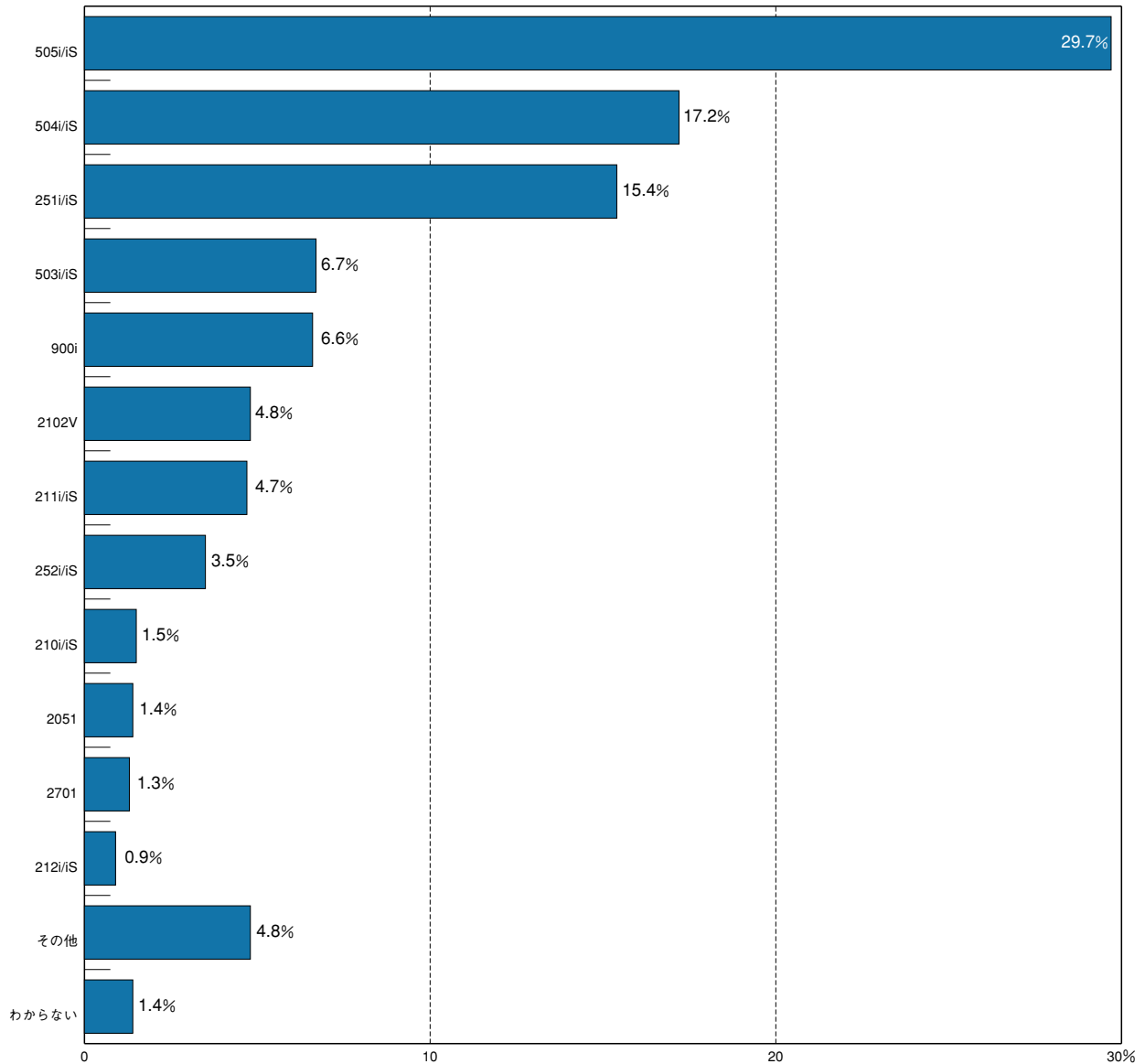
NTTドコモの使用機種では、相変わらずNEC製とパナソニック製が根強い支持を集めている。30位以内に入った機種だけでもNEC製は12機種で計31.2%、パナソニック製は10機種で計24.3%を占める。2社のみで5割を超える2強の構造は変わっていない。とくにNEC製N504iSは7.1%と、1機種のみで他メーカー1社に匹敵するほどのシェアを占めるという結果になった。

©impress, 2004

使用機種とその機能

NTT ドコモ機種シリーズ別では、機能重視の傾向

資料3-2-14 NTTドコモ利用者の使用機種（シリーズ別） N=1,100



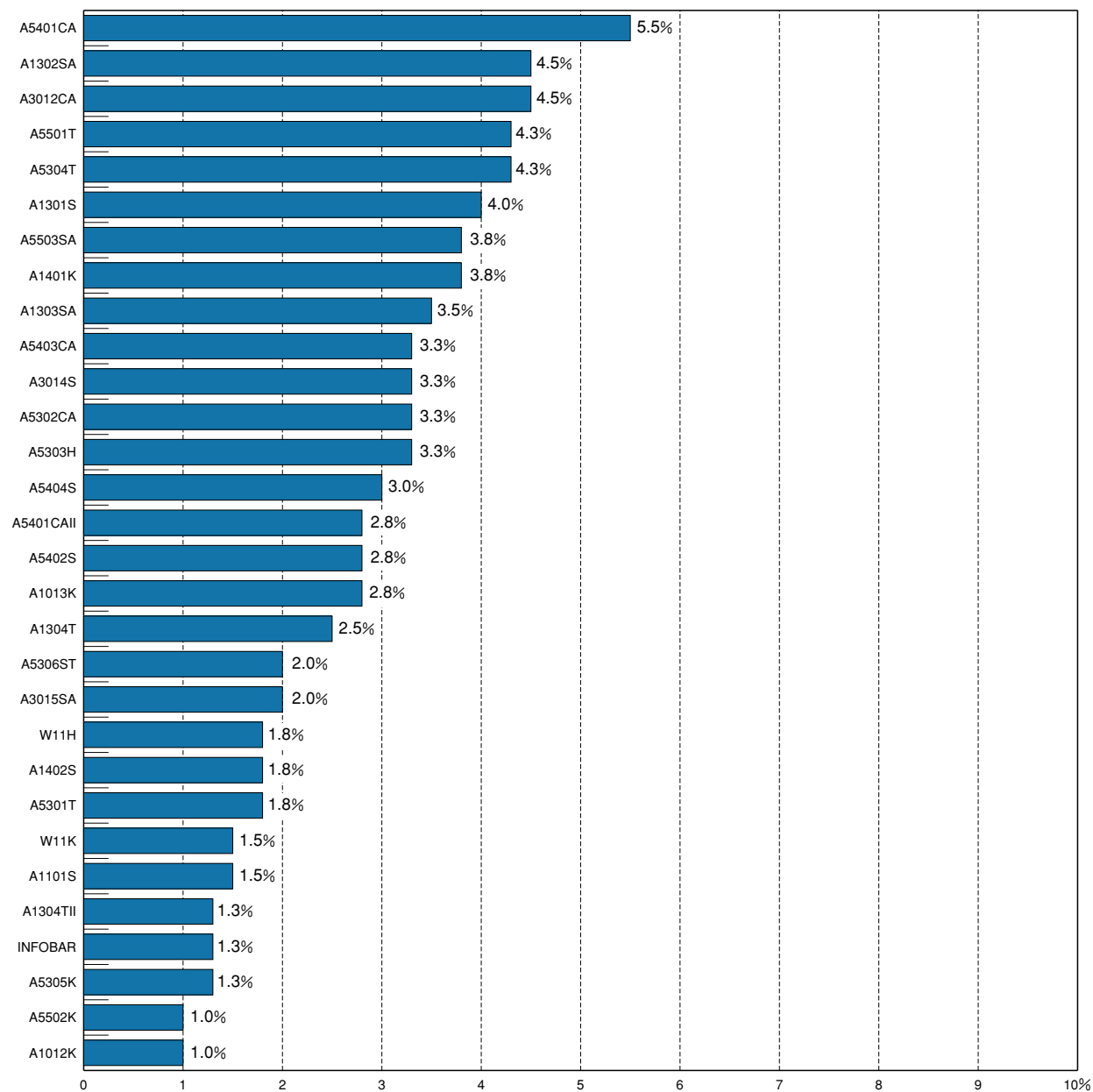
シリーズ別使用機種では、30位以内にランクインした型番500番台の機種が53.6%と全体の5割強を占める。30位以内に入った200番台の機種は計27.4%。携帯端末の機能を充実させたFOMA 900iシリーズは2004年2月初旬の発売ながら6.6%を占めるなど、携帯端末自体の機能を重視するユーザーが多いことがわかる。

©impress, 2004

使用機種とその機能

au使用機種トップ30では、カシオがトップシェアを占める

資料3-2-15 au利用者の使用機種トップ30 N=400



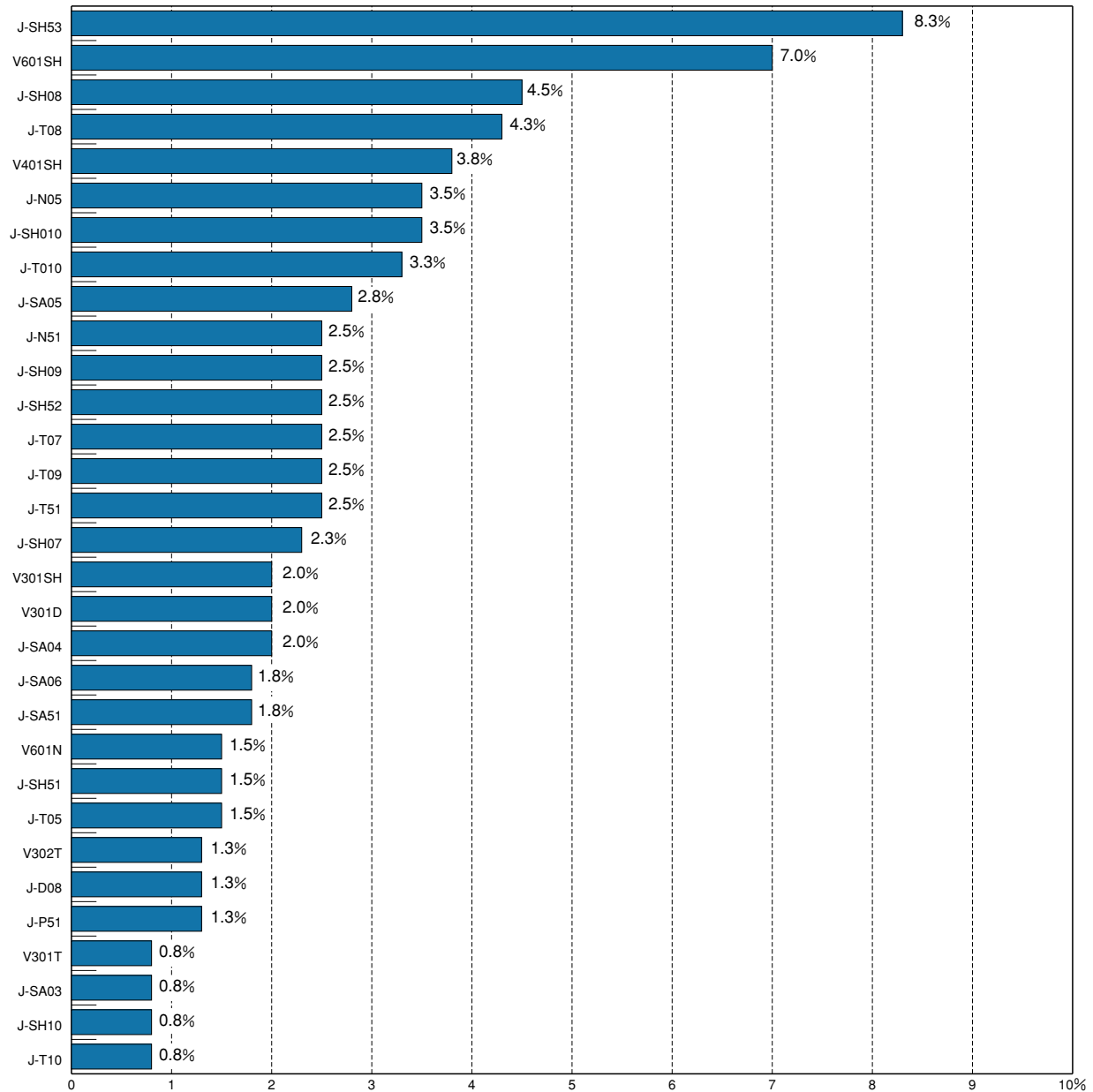
au利用者の使用機種で30位以内に入った機種のみを比較すると、カシオ19.4%、ソニー16.4%、東芝14.2%がトップ3ベンダーとなるが、NTTドコモやボーダフォンのように圧倒的に大きなシェアを持つメーカーは見られない。端末シリーズでも価格や性能を重視した型番1000番台の機種が上位に複数入っており、コスト重視で選ぶ利用者が比較的多いことがわかる。

©impress, 2004

使用機種とその機能

ボーダフォンでは圧倒的に強いシャープ

資料3-2-16 ボーダフォン利用者の使用機種トップ30 N=400



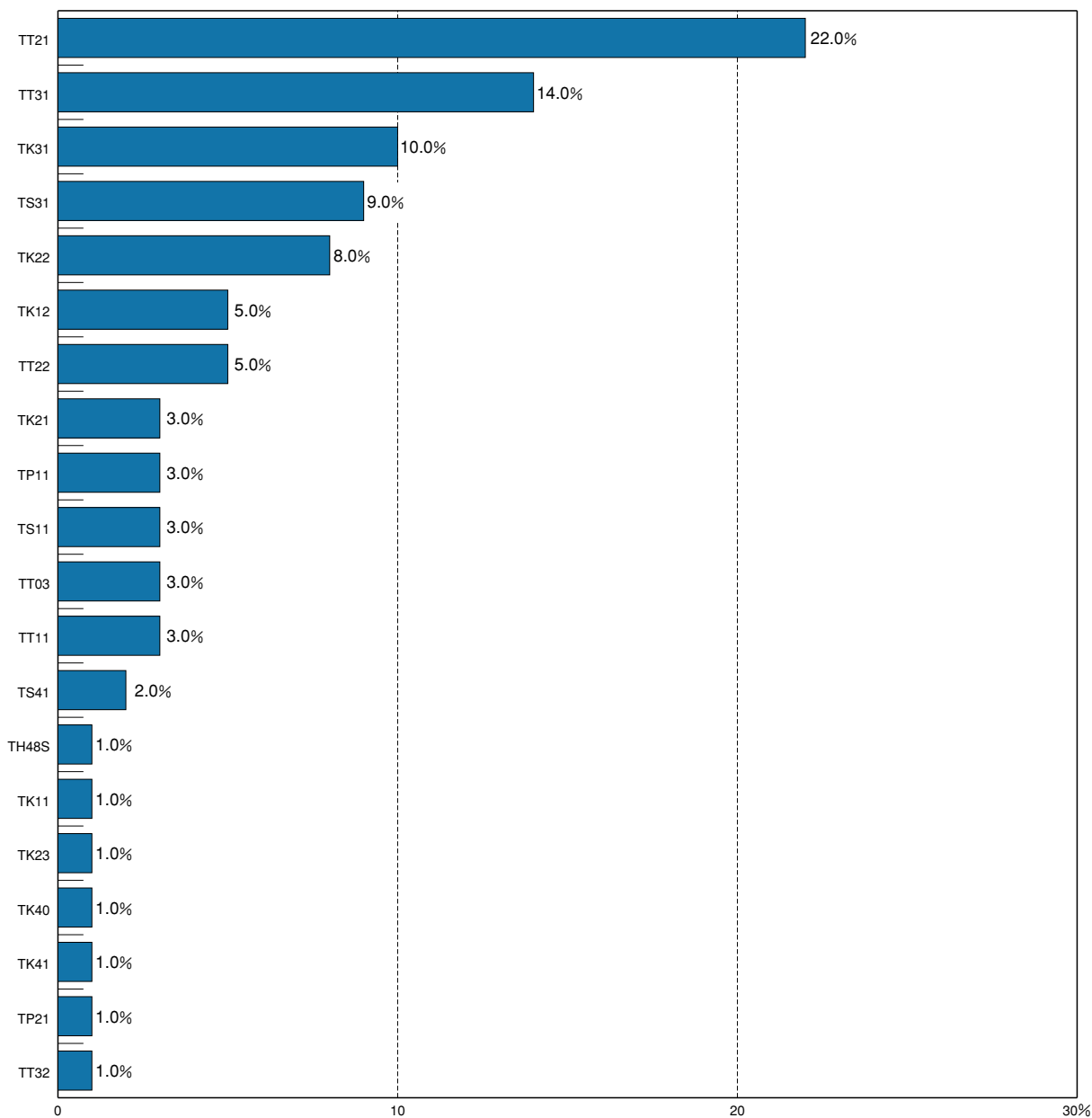
ボーダフォンの携帯端末では、相変わらずシャープが圧倒的に強い。トップ30に入った機種だけでも11機種でシェア38.7%にも及ぶ。このほか、ランキング上位には最新機種が並ぶNTTドコモと比べて、2002年2月発売のJ-SH08が3位に入ったほか、同じく2002年発売のJ-N05、J-T08など1年以上前の機種が上位にランクイン。端末買い替え頻度が低いユーザーも多いことがわかる。

©impress, 2004

使用機種とその機能

ツーカーでは東芝が約5割のシェア

資料3-2-17 ツーカー利用者の使用機種 N=100



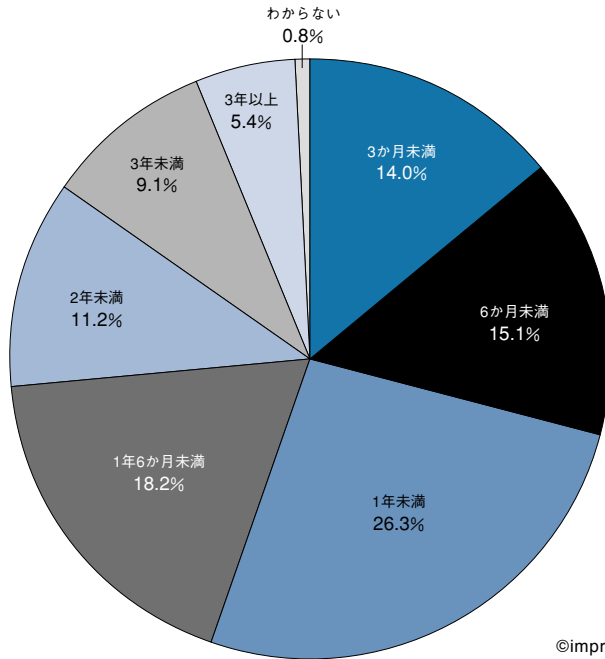
ツーカーの携帯端末では、30位以内のランクにかぎっても東芝が6機種48.0%と約5割のシェアを占める。トップのTT21はメッセージ機能を搭載したことで注目された2002年3月発売の機種。ツーカーでは年に発売される端末数が他キャリアより少ないこともあるが、最新のサービスや機能を追いつけないツーカー利用者の特徴が読み取れる結果となった。

©impress, 2004

使用機種とその機能

現在使用中の機種利用歴は半年未満が約3割

資料3-2-18 現在使用している機種の利用歴 N=2,000

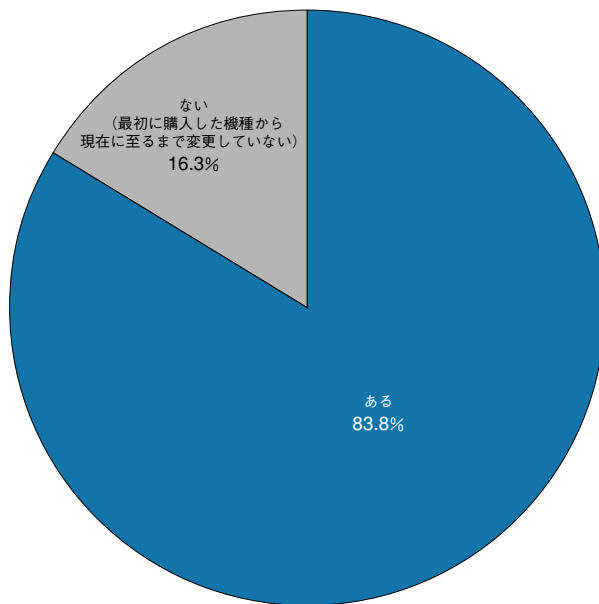


©impress, 2004

現在使用している機種の利用歴では、3か月未満と6か月未満を合わせると29.1%と3割近くに達する。1年未満は26.3%で、端末の入手から1年を経過していない利用者は計55.4%と半数以上を占める。数年前は買い替えサイクルは平均1年半といわれたが、各社の新機能競争もあり、携帯端末の買い替えサイクルは短くなる傾向にある。

機種変更の経験がない利用者は2割を切る

資料3-2-19 機種変更の経験有無 N=2,000



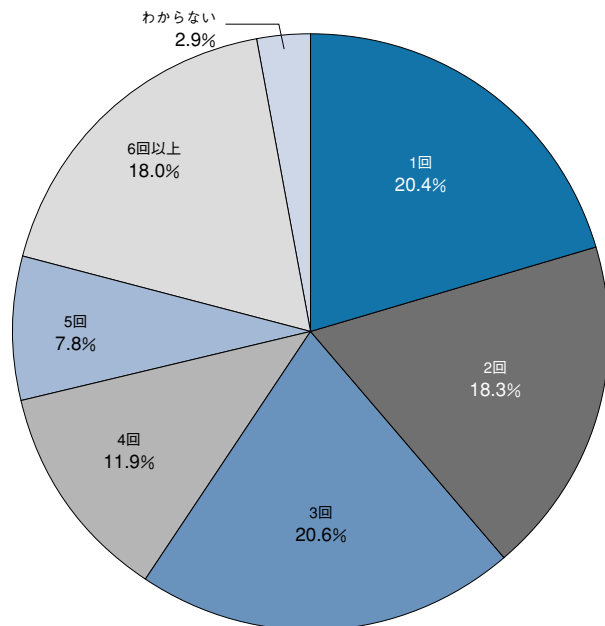
©impress, 2004

携帯電話の普及率が高まり、携帯電話を初めて購入してから何年か経過している利用者が増えていることに加え、携帯電話の機能競争が拍車をかける形で、大多数の利用者が機種変更の経験を持つ。調査では、機種変更の経験有無では「ある」が83.8%を占め、最初に購入した機種から現在まで機種変更をしていない利用者は2割を切った。

使用機種とその機能

機種変更の回数では「3回」が20.6%で最多

資料3-2-20 機種変更の回数 N=1,675

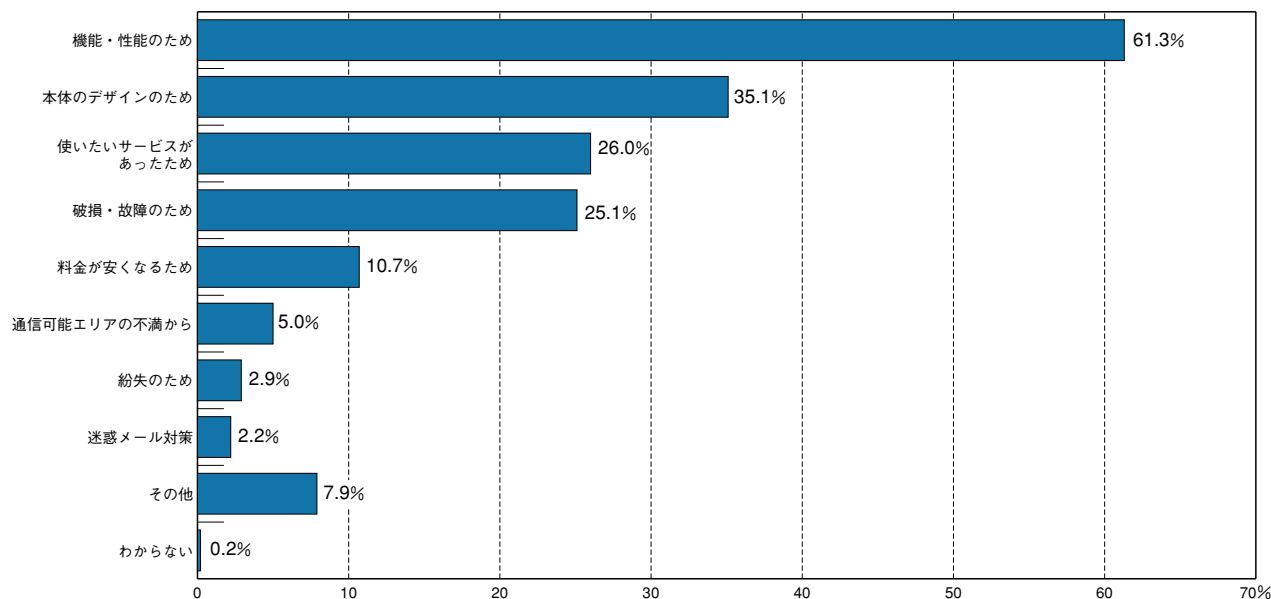


機種変更回数では、「3回」が20.6%で「1回」の20.4%に僅差をつけて最多となった。機種変更の場合、サービス会社から販売店へ新規顧客獲得に対して支払われるインセンティブ（奨励金）が付かない分、新規購入より価格は高めとなる。しかし、一方で各社が新端末の機能を競っていることから、利用者の機種変更の頻度は高まる傾向にある。

©impress, 2004

機種変更の理由は「機能・性能」が約6割を占める

資料3-2-21 1台前の機種から現在の機種に変更した理由 N=1,675



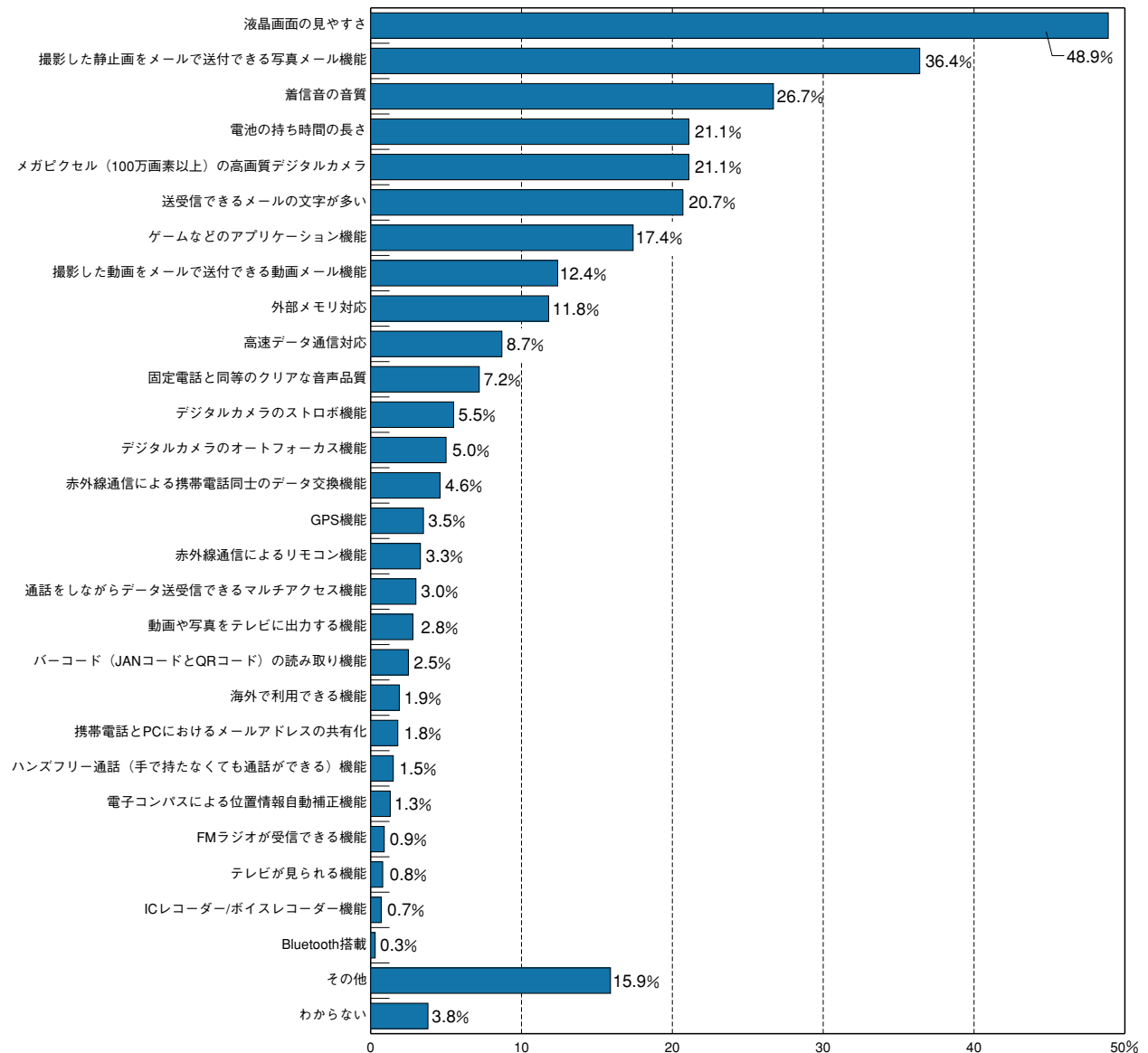
機種変更の理由では、「機能・性能のため」が61.3%と約6割を占めた。2003年度にはQVGA液晶や200万画素のカメラ機能搭載端末が発売されたが、2004年度もソニーの非接触ICカード「FeliCa」や300万画素のカメラ機能などが新しく登場、機能競争はまだ続く見通しだ。2位は本体デザインで35.1%。機種変更の動機は、料金より機能やデザインという傾向が見て取れる。

©impress, 2004

使用機種とその機能

携帯電話購入時に重視するのは「画面の見やすさ」が約5割

資料3-2-22 現在の機種を購入したとき重視した点 N=1,157



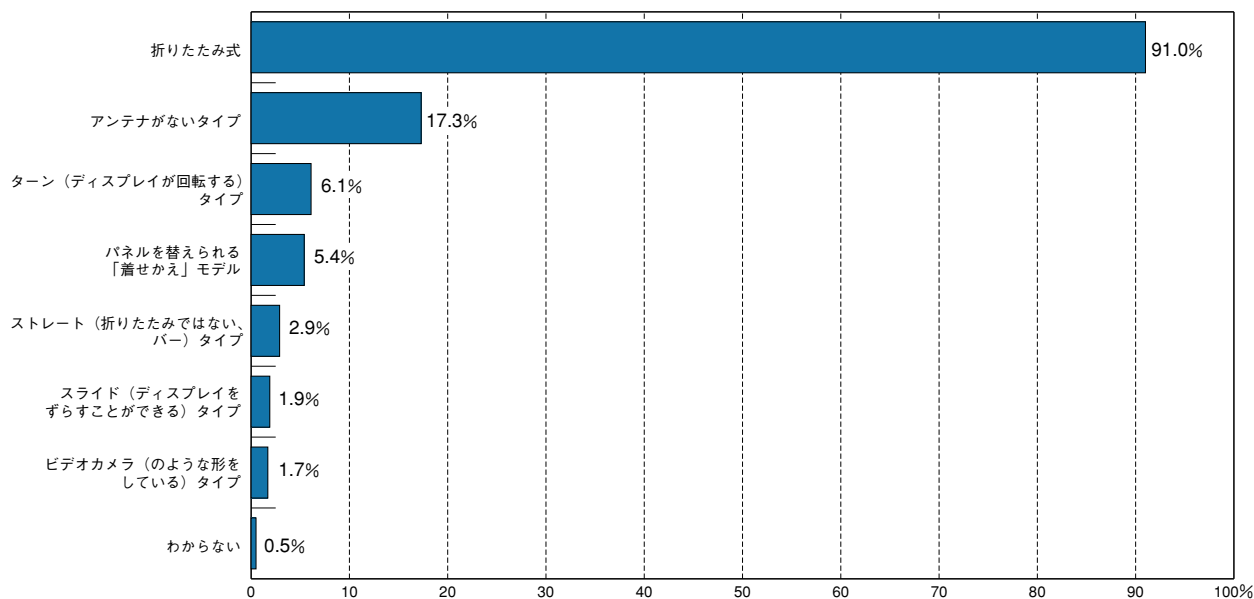
購入時に重視した点では、「液晶画面の見やすさ」が48.9%と、約5割の利用者が画面の見やすさを重視。ウェブ閲覧やメールなど、通話よりも「読む・書く」通信用途が主となりつつあるため、画面の見やすさを重視する利用者が多い。また、「高画質デジカメ」より「写真メール機能」が10%以上多く、画質より“撮ってすぐ送信”が携帯電話1つで可能なことが重視されている。

©Impress, 2004

使用機種とその機能

デザイン重視の利用者の9割が「折りたたみ式」

資料3-2-23 デザインを重視した人の現在の機種のタイプ N=588

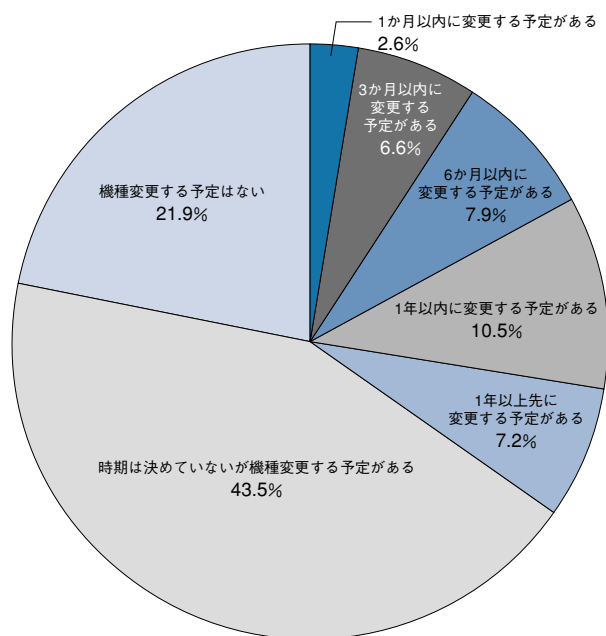


携帯電話購入時に「デザインを重視」したと回答した利用者が現在使っている端末は、91.0%までが折りたたみ式と、依然として折りたたみ式の人気が高い。2003年度には「ターンスタイル」が話題を呼んだが、携帯時もメイン液晶の画面が外側に露出している状態となるため、液晶の保護に不安を抱く利用者も多く、大きなシェアを取るまでには至らなかった。

©impress, 2004

8割近くの利用者は「機種変更の予定あり」

資料3-2-24 今後の機種変更予定の有無 N=2,000



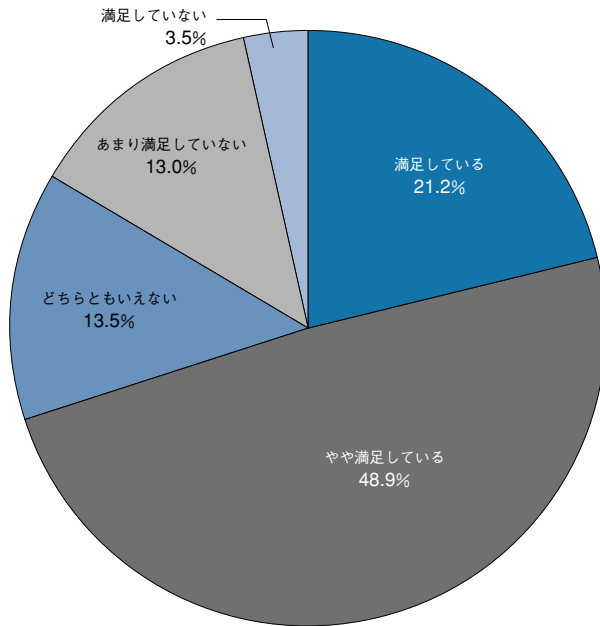
機種変更の予定では、時期は未定という利用者も含めると78.1%と8割近くの利用者が機種変更の意向を持つ。時期については、「時期は決めていないが、予定がある」とした利用者が43.5%で最も多く、機種変更理由の調査結果と併せて見ると、機能や性能などで欲しい機種が発売されたタイミングで機種変更する利用者が多いと考えられる。

©impress, 2004

使用機種とその機能

現在の機種には「満足」「やや満足」が7割を占める

資料3-2-25 現在の機種の満足度 N=2,000

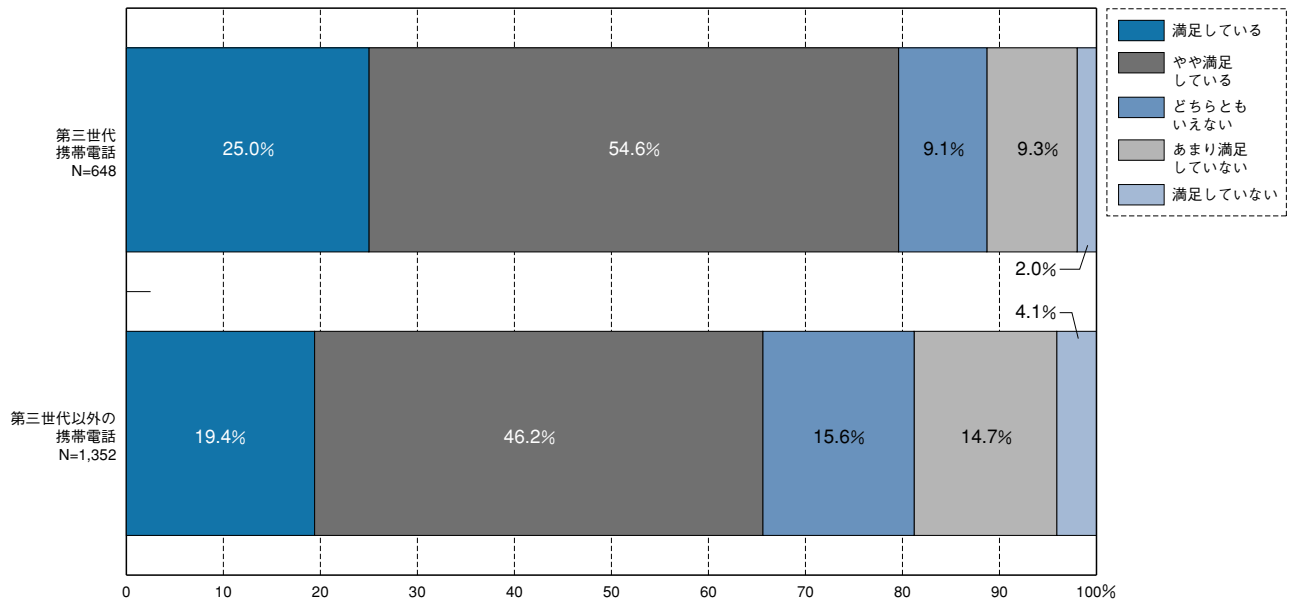


©impress, 2004

現在の機種の満足度では「満足」「やや満足」を合わせると70.1%。7割の利用者は比較的満足しており、現在の機種に対する満足度は全体に高いレベルにあるといえる。しかし、機種変更の予定がある利用者は8割近くにも上り、機種変更の理由で最も多いのが機能・性能であることから、現在の満足度は高いが、日常持ち歩く道具だけに、最新機能を求める利用者が多いことがわかる。

機種に対する満足度が高い第三世代利用者

資料3-2-26 第三世代携帯電話別 現在の機種の満足度



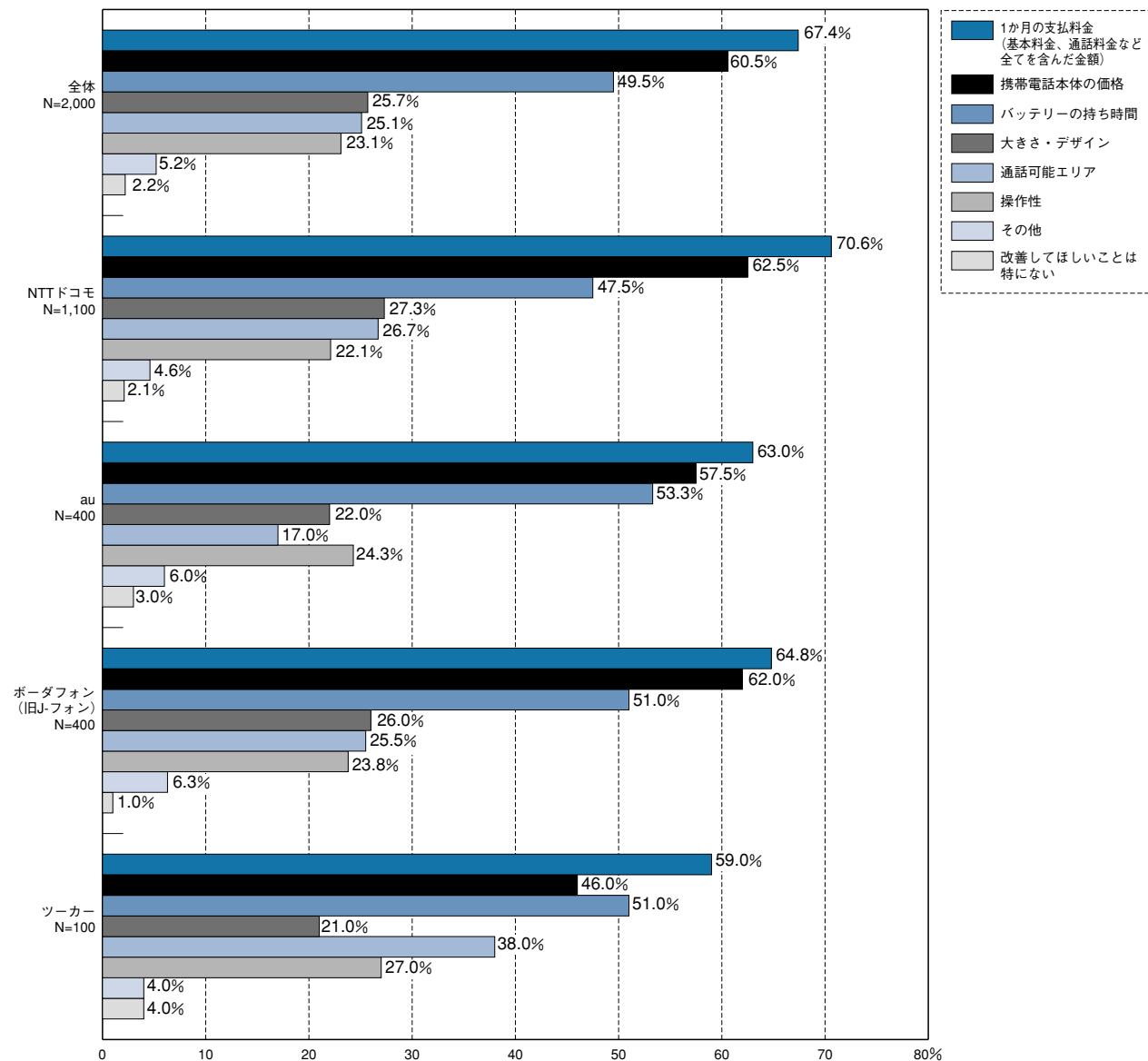
現在使用している機種の満足度を第三世代携帯電話の利用者とその他で比較してみると、「満足」「やや満足」の合計が第三世代携帯電話では79.6%、その他は65.6%で、第三世代携帯電話の利用者はその他と比較して満足度が高い。

©impress, 2004

使用機種とその機能

不満はコストとバッテリーの持ち時間

資料3-2-27 通信サービス会社別 携帯電話に求める改善点



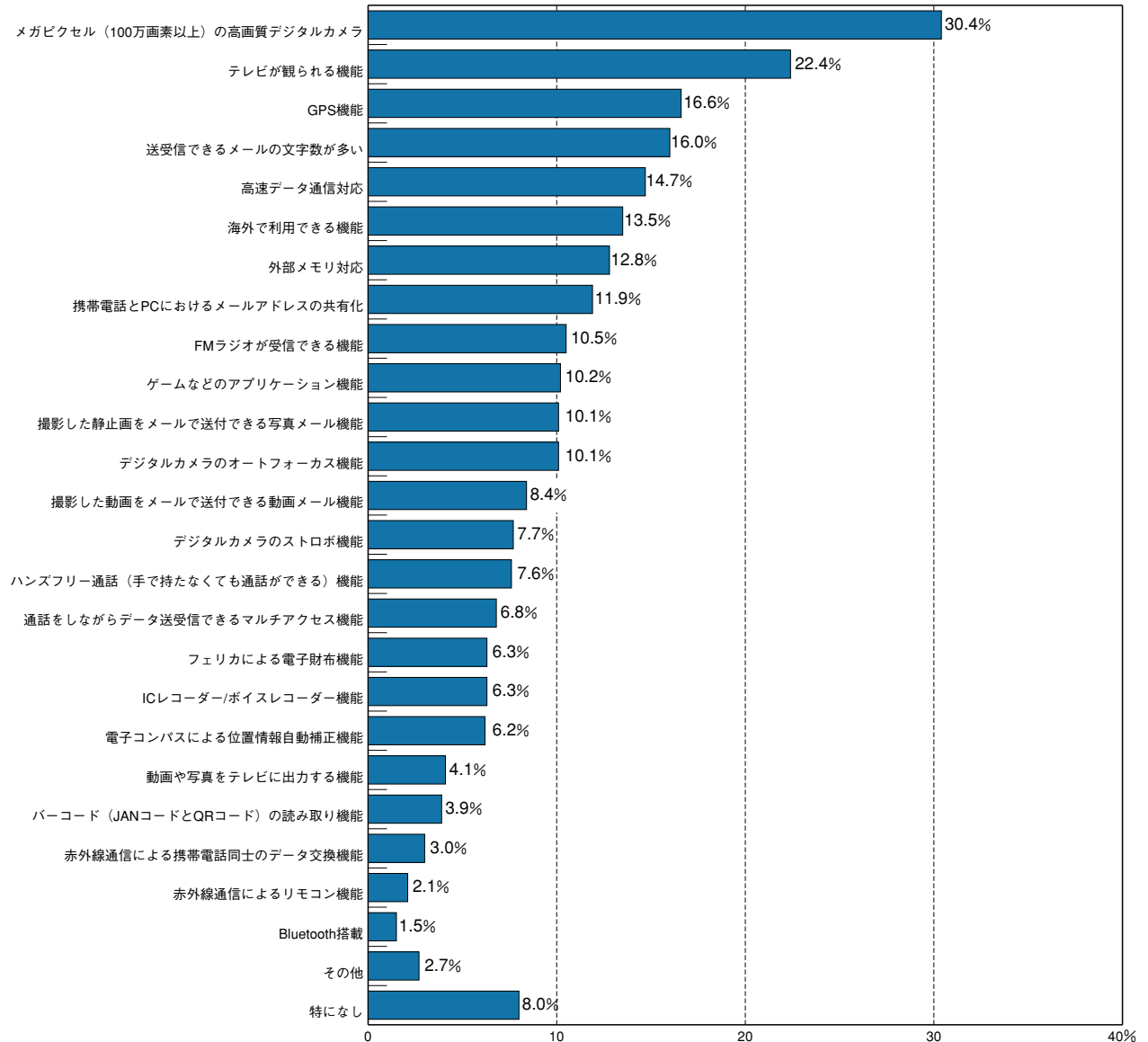
携帯電話に求める改善点では、全体で「利用料金」が67.4%でトップ、「携帯電話の本体価格」が60.5%でこれに続き、コストへの不満が強いことがわかる。また、バッテリーの持ち時間も49.5%と約5割の利用者が満足していない。サービス会社別に見ると、僅差ではあるが、NTTドコモで料金、auでバッテリーの持ち時間に対して不満が強い傾向が見られる。

©impress, 2004

使用機種とその機能

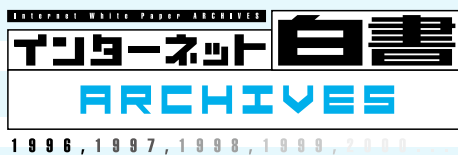
“あったらいい”機能は、メガピクセルデジカメが3割でトップ

資料3-2-28 新しい機種を購入する時にあったらよいと思う機能 N=2,000



新機種購入時にあったらよいと思う機能では、メガピクセルの高画質デジタルカメラが30.4%でトップ。テレビが観られる機能が22.4%で続く。3位以下は利用者の用途によって分かれる印象だが、GPS機能が16.6%と3位に入っているわりに電子コンパス搭載は6.2%しかないなど、まだ利用者に機能が理解されていないと思われるものも多い。

©Impress, 2004



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp